

昭和二年に山形縣にては道路橋梁改修計畫を樹立した。
其の計畫に依れば道路の改修延長三十七里三町橋梁の架換

をなすもの五十一橋で其の工費一千百六十七萬五千五百三
圓となつてゐた。夫を昭和四年に政府に於て緊縮政策を採

池本泰兒

最近に於ける山形縣の橋梁工事

田川	猪位金	位登	輝綠岩	同	七・五馬力	1,100・000	三,000・000	同
同	後藤寺	弓削田	石灰岩	同	三〇	11,000・000	三,000・000	同
嘉穂	穗穂	波南尾	蛇紋岩	同	七・五	1,600・30	三,000・0	個人
同	桂川	永尾	穗波川產	同	五・〇	1,800・30	ニ,133・〇	同
浮羽	柴刈	朝森	筑後川產	同	八・〇	ニ,800・00	三,600・0	同
三井	大檜	安部	天熊草本石縣	同	一〇・〇	四,500・00	一,500・0	同
大牟田	小計	三里	同	五・〇	一,700・00	三,600・0	同	
合				三元・五	全,200・00	一,600・0	一,600・0	
				墨七・〇	三,600・00	一,600・0		

ることになり又指定府縣道の國庫補助が中止となつたため其の計畫を一部變更しなければならなくなつたが、本縣の橋梁は大部分木橋であつて既に老朽に達して居て人命保全災害豫防の見地よりして之れの架換はどうしても放置すべきでないので橋梁架換を主體とする計畫に樹て直して之れに對する起債の許可を得て目下銳意工事中である。其のうち既に竣工せるもの及工事中のものから重なもの四つだけを次に擧げて見る。

村山橋

本橋は村山平原の中央に位し東村山郡藏増村と西村山郡西根村とに跨り府縣道天童寒河江線に屬し最上川に架設せられ、橋長は二百五十三間三分有效幅員は三間である。橋臺は長さ二十五呎横七呎縱十七呎厚さ二呎の鐵筋混擬土構矩形井筒を基礎とし其の上に三十呎半の橋臺を据えたもので橋脚は七本あり深さ四十呎と三十五呎の基礎井筒に二十五呎の橋脚を建て井筒の厚さは一呎九吋、底面積は五百四

士平方呎の梢圓形のものである。

上部工はワ

ーレン型鋼構

橋徑間百八十八

呎のもの八

連、橋面はア

スファルトブ

ロック鋪裝を

したもので總

工費四十九萬

七千六百八十

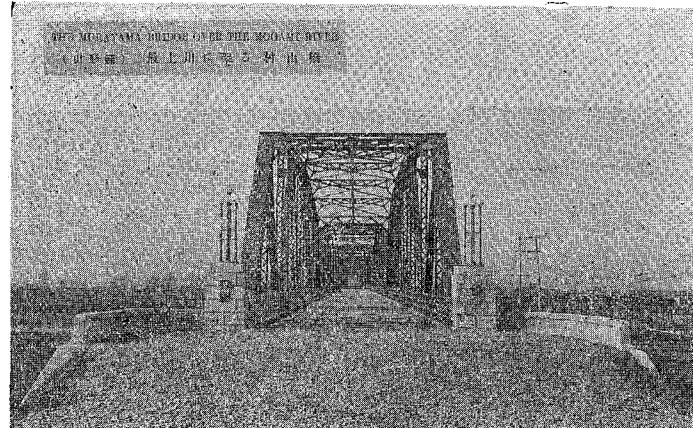
八圓四十錢、

作業延人員二

萬二千九百五

人、實作業日

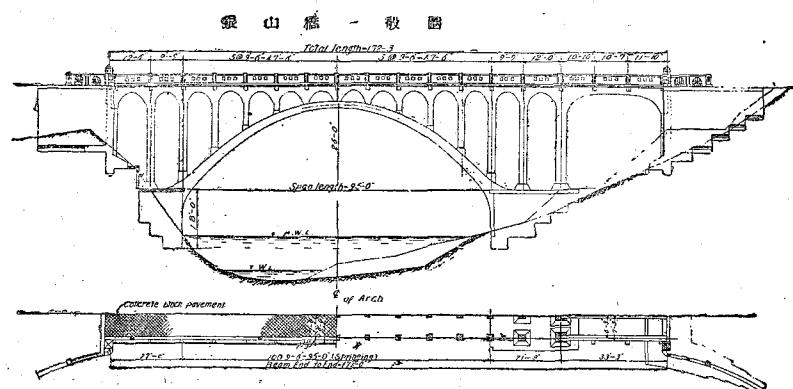
數三百七十一日、昭和四年十二月十日に竣工した。



銀山橋

本橋は府縣道尾花澤銀山線に屬し北村山郡玉野村大字新畠地内、湯澤川に架設したるもので銀山は古來から有名な温泉で諸疾患の療養に特效があると云はれて浴客も日々増してゐたけれど何分土地が僻険で然も道路には屈曲多く勾配も急峻で殊に本橋架設地點は俗稱七曲りと言はれた自動車の交通が不便な處であつたのを架設に際して道路をも改修して此の七曲りを除いてしまつたので尾花澤から銀山温泉まで乗合自動車賃の一圓五十錢であつたのが五十錢になつたと云はれてゐる。道路橋梁改修の效果の餘りに著しきに驚嘆せざるを得ない。

橋梁の全長は百七十二呪で内百三十九呪は無鉄筋混凝土拱橋三十三呪は鐵筋混凝土丁型桁橋で有效幅員は十五呪六吋である。左岸拱臺は高十八呪奥行十三呪六吋幅二十一呪、右岸拱臺、高十八呪奥行十三呪六吋幅十七呪を有し何れも岩盤を階段状に掘鑿して築造し橋臺は扶壁式鐵筋混



凝土造である。拱環は徑間九十五呪、拱矢二十六呪、拱環厚は頂點で二呪二吋、幅は十五呪になつてゐる拱軸は抛物線、拱環上の支柱は一組三本づゝ十一組で丁桁を支へ、橋面は混凝土塊にて鋪装してある。總工費三萬二千六百二十圓、橋梁の平坪當工費は二百九十九圓、作業延人員四千九十六人、工事日數百四十二日に

て昭和四年八月十二日に竣工した。

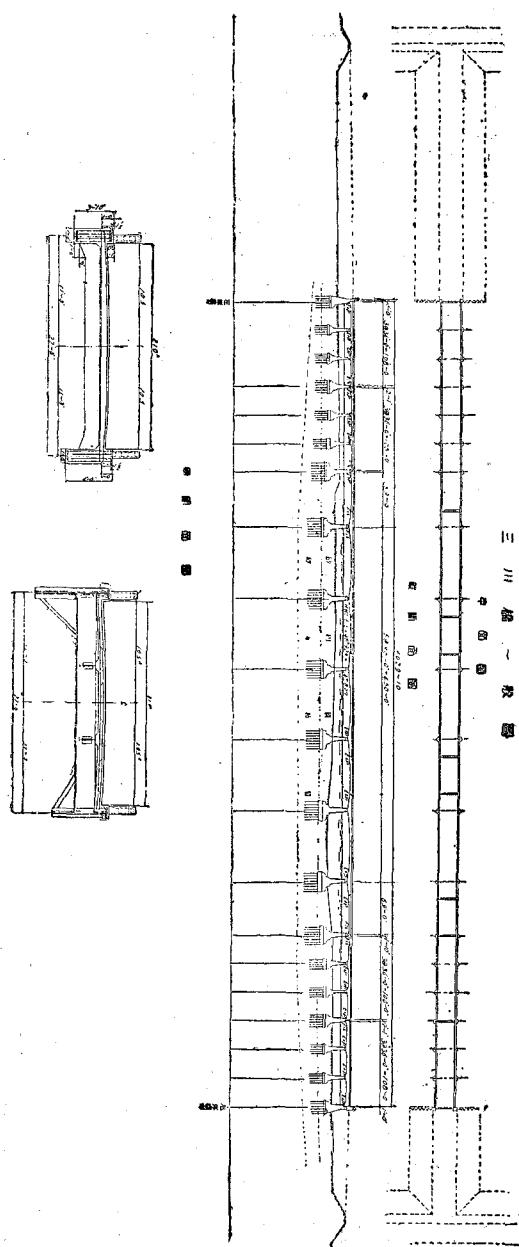
三 川 橋

本橋は府縣道新庄鶴岡線、鶴岡市地内赤川に架設したもので目下内務省に於て直轄施行中の最上川及支川赤川改修

工事の進捗に依つて改築を要することとなり總工費二十萬七千六百二十二圓に對し國庫負擔十萬圓を得て内務省にて昭和四年四月一日より直營施行中に屬するものである。

橋長は千二十九呎十吋、有效幅員二十一呎で上部構造の

型式は兩端各六徑間は鐵筋混凝土三徑間連續桁橋であつて



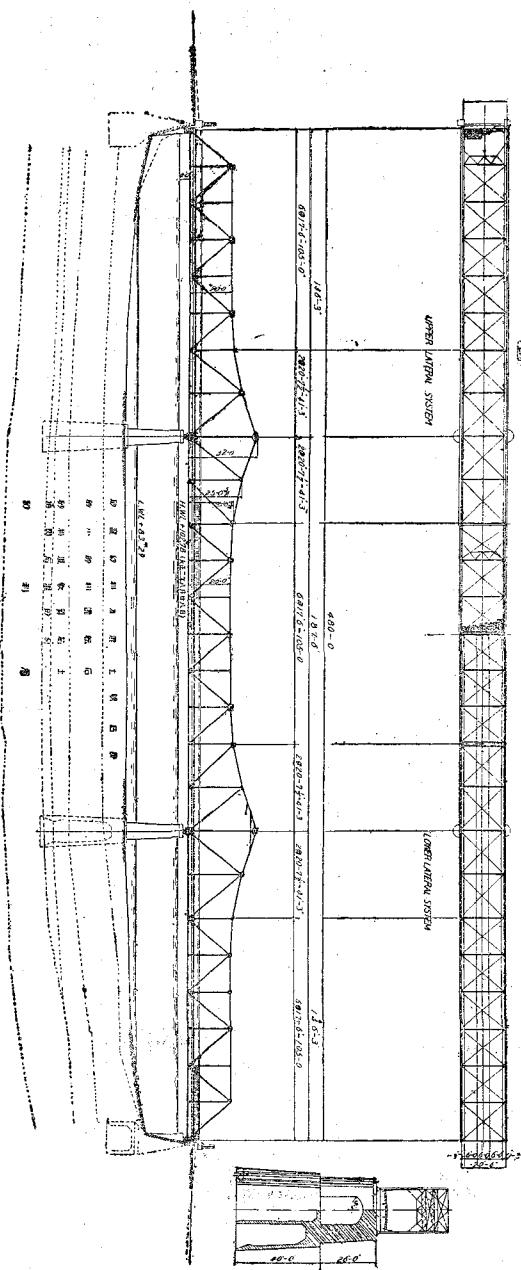
一徑間は三十六呎、中央の七徑間はゲルバー型鋼鈑桁橋で

其の兩端は徑間各々六十九呎、中央五連は各々九十呎で橋

面は瀝青塊を用ふる。

橋臺及橋脚共に鐵筋混凝土造にして基礎は松杭に依るもの

大石田大橋一般圖



のである。

大石田大橋

本橋は最上川の中流に位し北村山郡横山村と同郡大石田

町とに跨り府縣道谷地大石田線に屬するものである。本架橋地點は最上川の狹隘部になつてゐて洪水時に著しき水位の上昇を見大正二年の洪水には平水位以上十七尺の高さに達せし程なるも上下流兩岸の状況に依り橋長を更に延長することが困難なるために舊橋の位置に橋長を四百八十呎を全長とし桁下の餘裕を五呎とし其の有效幅員は十八呎としたものである。型式はゲルバー式鋼構橋で兩側徑間は百四

十六呎三吋中央徑間は百八十七呎六吋である。鋼材及其の他の鐵材を合し全重量は約三百英噸で製作一式を櫻田機械製造所にて請負うたと云ふ。橋面はアスファルトプロックにて鋪装する。

左岸橋臺は十三呎の井筒の上に二十四呎の橋臺を造り其の井筒の大きさは横二十五呎、縱十六呎にして側壁の厚さは一呎九吋、井筒内部は一・四・八の粗石混凝土を填充す。尙右岸橋臺は杭打基礎なり。橋脚工は四十呎の基礎井筒の上に二十六呎半の橋脚を建つるものとす。工費の豫算は十九萬五千圓にて昭和五年一月四日起工し目下工事中である。

大阪附近道路關係者懇談會其他

長久保俊夫

大阪附近道路關係者懇談會

標記の會が、大阪市立工業研究所の主催で、去る六月十